

Press release

Two-Wheeler and Powersports



ボッシュ、レーダーベースの新アシスタンス システムを発表 : KTM が採用を決定

2024 年 9 月 24 日
PI 11889 BBM Rf/Sekr

ライダーがライダーのために開発した二輪車向け安全運転支援機能

- ▶ 利便性と安全性を向上する 6 つのレーダーベースの新機能が、世界中で使用可能に
- ▶ KTM が、前方用レーダーを利用した新世代のライダー向けアシスタンス機能を初採用
- ▶ ボッシュの事故調査：ドイツ国内だけで二輪車事故 6 件のうち 1 件はアシスタンス機能で防げると推定

シュトゥットガルト（ドイツ）および横浜（日本） - ボッシュはこのたび、レーダーを活用した 6 つの新しいアシスタンスシステムを発表しました。そのうち 5 つは世界初のシステムとなり、ボッシュの新技术により二輪車ライダーの安全性がさらに向上します。ボッシュの事故調査によると、従来のアシスタンスシステムではドイツ国内の二輪車事故の 7 件に 1 件を防止できる可能性があるところ、新しいシステムでは 6 件に 1 件の確率にあがるとされています。ボッシュは 2020 年、二輪車ライダー向けのサポート機能で二輪車市場に革命をもたらしました。今回発表した 6 つの新しいアシスタンス機能のうち、4 つは 2024 年 11 月に欧州の大手バイクメーカー KTM から発表される新モデルに搭載され、2025 年には量産化される見込みです。ボッシュのモーターサイクル & パワースポーツ事業部長のジェフ・リアッシュは次のように述べています。「ボッシュは革新的な新技术の搭載により、ライディングの楽しさを損なうことなく、二輪車で走行をより安全かつ快適なものにすることを目指しています。新機能は、この方針に沿ったさらなる一歩であり、KTM に採用されたことを嬉しく思います」。KTM は、前方用レーダーを利用した 4 つのライダーアシスタンス機能を導入します。ボッシュと KTM の協業は今回が初めてではありません。2013 年、両社はモーターサイクル用スタビリティコントロール（MSC）のローンチを成功させました。KTM シャシーコントロールシステム、ストリート開発を率いる Stefan Haist 氏は、「私たちは、長年にわたる両社の開発チームの協力関係に非常に満足しており、今回の新機能を最初に実用化できることを嬉しく思います」と述べています。

Robert Bosch GmbH
Postfach 10 60 50
70049 Stuttgart,
Germany

E-mail anna.schmatz@de.bosch.com
Phone +49 711 811-12715

Corporate Department
Communications & Governmental Affairs
Executive Vice President: Prof. Christof Ehrhart
www.bosch-press.com

ポッシュのアシスタンスシステムで二輪車をさらに強力にサポート

アダプティブ クルーズ コントロール - ストップ&ゴー (ACC S&G)

二輪車にとって交通渋滞は、体力を消耗させるだけでなく、危険でもあります。ライダーはクラッチレバーを握り、ブレーキ操作に神経を使い、そしてまた走行を再開する、といったことを始終繰り返さなければなりません。この一連の操作を簡素化するために、ポッシュは2020年にACC（アダプティブ クルーズ コントロール）を発売しました。ACCでは、一度車速を設定しておけば、システムがその範囲内で前方車両との安全距離を保ちつつ、常に交通の流れに沿った速度で車両を走行させます。この技術を応用した新しいACC S&G機能では、ライダーをサポートするために必要に応じて二輪車を停止させることができるため、走行時の快適性を向上します。この新機能は、初めて搭載されるKTMの新型バイクに使用されるようなオートマチックトランスミッションに最適です。二輪車が停止しても、ライダーがクラッチを操作する必要はありません。前方車両が動き出したら、ボタンを押すかスロットルを短く操作するだけで走行を再開できます。

グループ ライド アシスト (GRA)

二輪車ライダーの間では、集団走行時に千鳥走行と呼ばれる隊列で走行を行う場合があります。しかしACCでは、先行車両は車線の中央を走るものと想定されているため、千鳥走行ではACC機能が効果的に作動することが難しいこともあります。そこでACCに追加された便利な機能がGRAです。アルゴリズムの使用により千鳥走行中の集団を検知し、前方の二輪車との車間距離を、速度を調整して自動的に維持します。このようにして、ライダーが自然な隊列を取れるようアシストします。隊列走行時以外では、GRAシステムはACCと同様に機能します。

ライディング ディスタンス アシスト (RDA)

交通の流れがスムーズなときにRDAを作動させると、前方車両との適切な車間距離を維持して追突を防ぐことができます。ACCでは速度を設定する必要がありますが、RDAが作動しているときは、通常通りスロットルグリップで二輪車を制御できます。前方車両との距離をあらかじめライダーが設定することができ、走行中、システムは必要に応じて自動的に車両の加速を抑えたり、ブレーキをかけたりします。また、ライダーは、スイッチでこの機能を停止したり、スロットル操作でRDAシステムによる減速を無効にしたりすることもできます。これにより、ライダー自身がスロットルを操るダイナミックな走行のなかでこの機能を自然に、かつ快適に組み込むことができます。

エマージェンシー ブレーキ アシスト (EBA)

路上で危険な状況に陥ったとき、迅速な対応だけでなく、多くの場合は緊急ブレーキも必要です。衝突を回避して深刻な事態を避けるには、一刻を争います。EBAは、システムが衝突の危険を検知しても、ライダーが十分にブレーキ

をかけていないときに作動します。この機能では、システムがホイールブレーキ圧を積極的に上げて、可能な限り素早く車両速度を低減します。

リア ディスタンス ワーニング (RDW)

四輪車に乗っていても、後方からの接近車両を常に注視するのは難しいものですが、二輪車ではさらに集中力が必要です。RDW は、車両後方の状況をモニターし、他の後方車両が接近し過ぎた時は、ライダーに対してディスプレイに警告を表示します。ライダーはこの警告に基づいて、追突を回避して被害を最小限に留めるための行動を取ることができます。

リア コリジョン ワーニング (RCW)

RCW は、衝突が差し迫っている際、ハザードランプを点灯させるなどして後続車両に警告を発します。これにより、信号待ち、交通渋滞、円滑な交通量など、さまざまな状況下で二輪車ライダーを急ブレーキや見落としによる事故から守ります。

今回発表した 6 つの新機能は、ボッシュが世界中で展開しているレーダーベースのアシスタンスシステム製品ポートフォリオを補完するもので、二輪車の「感性の世界」を拡大します。基本的な安全機能に加え、二輪車特有の実際の走行状況を考慮した利便性や体験に関する機能も重視した、走る楽しさも確保する機能です。

報道用画像およびインフォグラフィックは、ボッシュ・メディア・サービス (www.bosch-press.com) からご利用いただけます。

報道関係対応窓口：

Anna Schmatz,

電話: +49 711 811-12715

E-mail: anna.schmatz@de.bosch.com

モビリティは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2023 年の売上高は 562 億ユーロで、グループ総売上高の約 60% を占めています。モビリティの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティ事業セクターは、安全でサステイナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、電動化、ソフトウェアとサービス、半導体とセンサー、車両コンピューター、先進運転支援システム、ビークルダイナミクスコントロールシステム、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト/テクノロジー/サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2023 年の従業員数は約 42.9 万人 (2023 年 12 月 31 日現在)、売上高は 916 億ユーロ (約 13.9 兆円*) を計上しています。事業はモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、電動化、デジタライゼーション、ネットワーキング化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを

活用することを目指しています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 470 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 136 の拠点で約 9 万人の従業員が研究開発に、そのうち約 4.8 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2023 年の為替平均レート、1 ユーロ = 151.9026 円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

[@BoschPress](#) ボッシュ・メディア 公式 X (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

[@BoschJapan](#) ボッシュ・ジャパン 公式 X (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)